

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第709号]

2011
10-11



2-3 特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」

4 特別展〔予告〕「ボストン美術館 日本美術の至宝」

5 秋の庭園解放 6-9 総合文化展 見どころ案内 2011年 10月・11月 日本美術の流れ
特集陳列「板谷家の絵画とその下絵」 特集陳列「陶片の美」 特集陳列「東叡山寛永寺」

10 高円宮コレクション室オープン 11 柳瀬荘アート・教育プロジェクト

12-13 みどりのライオン 教育普及事業〔講演会/こどもたちのアートスタジオほか〕

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 2011年10月・11月の展示・催し物

関連事業

記念講演会

① 10月28日(金) 18:00 ~ 18:45

「法然と親鸞」

松岡正剛(編集工学研究所所長 日本文化研究家)

② 11月19日(土) 13:30 ~ 15:00

「特別展」法然と親鸞 ゆかりの名宝」について

高橋裕次(東京国立博物館 博物館情報課長)

③ 11月26日(土) 13:30 ~ 15:00

「法然上人に近づく」

西山厚(奈良国立博物館 学芸部長)

会場:平成館大講堂

定員:各回 380 名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料は必要)

申込方法:往復はがきの「返信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①~③)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申し込み下さい。

*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。

*2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒103-0014 中央区日本橋蛸殻町1-28-9

ウインダム「法然と親鸞展」(希望する講演会番号①~③)

申込締切:①10月7日(金) ②10月24日(月)

③10月31日(月)必着

特別展

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌

特別展

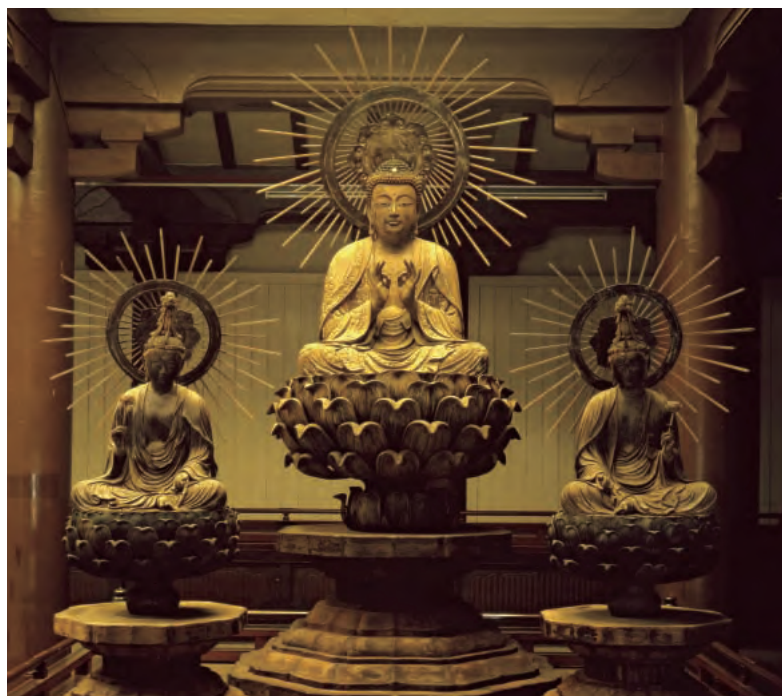
法然と親鸞

In Commemoration of the 800th Grand Memorial of Honen and the 750th Grand Memorial of Shinran
Honen and Shinran: Treasures Related to the Great Masters of the Kamakura Buddhism



ゆかりの名宝

鎌倉の巨星ふたつ。800年ぶりの再会。



鎌倉時代の巨星ふたり、法然と親鸞の生涯と信仰を今に伝える名宝が一堂に会します。展覧会の担当研究員からそれぞれ思いのこもったおすすめ作品ベスト5を紹介します。

10月25日(火) — 12月4日(日) 平成館

◎阿弥陀三尊坐像

神奈川・浄光明寺蔵

浅見龍介「彫刻担当研究員」の
オススメ★ベスト1

作品には作者、

作品と向き合って祈りを捧げた人などのさまざまな思いがこめられています。

その点で等しく貴重ですが、「誰が」関わったのか、ということがわかり、その人がどんな人生を歩んだかわかると感動が増します。そうした観点で私が対面を楽しみにしている作品を選びました。

究極の一点は、重要文化財・阿弥陀三尊坐像(神奈川・浄光明寺蔵)です。

本尊の阿弥陀如来坐像は正安元年(一二九〇)北条久時という鎌倉幕府の重鎮が造ったもの。久時の娘は足利尊氏の夫人になっています。建武二年(一二三二)後醍醐天皇から朝敵とみなされた尊氏は浄光明寺に籠ります。この三尊の前で悩み、祈り、自分の進むべき道を見つけたでしょう。この像と対面すると尊氏の視線と自分の視線が重なるように感じます。(浅見龍介)

オススメ★ベスト5

① ◎阿弥陀三尊坐像

鎌倉時代・正安元年(1299) 神奈川・浄光明寺蔵

② ◎阿弥陀如来立像

鎌倉時代・建暦2年(1212) 浄土宗蔵

法然にもっとも愛された弟子源智が師の一周忌に間に合うように造らせた像。4万5千人に及ぶ結縁者の名簿を像内に納めたのは、源智の師を思う心の深さによるのでしょう。

③ ◎迎接曼陀羅図

鎌倉時代・13世紀 京都・清凉寺蔵
(11月15日~12月4日展示)

熊谷直実が所持していたもの。直実といえば「平家物語」や能の「敦盛」で知られる武将。息子と同年代の敦盛を討たねばならず……。出家して法然の弟子になり、この曼陀羅に日々極楽往生を祈ったのです。

④ ◎教行信証(坂東本)

親鸞筆 鎌倉時代・13世紀 京都・東本願寺蔵
(会期中2週毎に頁替えあり)

親鸞独特の細く鋭い筆跡で密に書かれています。晩年まで改訂を続けたあとがあります。親鸞の皆を救いたいという強い思いが感じられる、心を打つ文字です。

⑤ ◎七箇条制誡

鎌倉時代・元久元年(1204) 京都・二尊院蔵
(10月25日~11月13日展示)

専修念仏をやめさせようという延暦寺の動きに対して、法然が七つの誓いを立てて、活動の自粛を約束した後に法然以下弟子190名の署名が続きます。署名は元久元年(1204)11月7日、8日、9日の3日間にわたりますが、8日の7番目「僧徒空」が若き日の親鸞の署名です。法然門下集っていた人々の息遣いが聞こえるようです。

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌 特別展 法然と親鸞 ゆかりの名宝

10月25日(火)~12月4日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社 後援:文化庁

協賛:トヨタ自動車、日本写真印刷、三井住友海上火災保険

特別協力:知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清浄華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、善光寺大本願、光明寺(長岡京市)、禅林寺、誓願寺、遊行寺

西本願寺、京都 東本願寺、専修寺、佛光寺、興正寺、錦織寺、毫摂寺、誠照寺、専照寺、證誠寺

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

*()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。*会期中作品の一部に展示替えがあります。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600 展覧会ホームページ: <http://www.honen-shinran.com/>

オススメ★ベスト5

1 ●二河白道図

鎌倉時代・13世紀 京都・光明寺蔵
(10月25日～11月13日展示)

2 ●親鸞聖人影像(鏡御影)

鎌倉時代・13世紀 京都・西本願寺蔵
(11月22日～12月4日展示)

墨線のみで描かれた小さな御影だからこそ、
込められた想いと意味の深さが想像されます。

3 ●当麻曼荼羅縁起

鎌倉時代・13世紀 神奈川・光明寺蔵
(上巻10月25日～11月13日展示)
(下巻11月15日～12月4日展示)

絵巻史上まれにみる大画面に、小さな中將姫
と大きな阿彌陀仏の対比が圧巻です。

4 ●法然上人絵伝

鎌倉時代・13世紀 東京・増上寺蔵
(10月25日～11月13日展示)

今展ではたくさんの方の法然・親鸞の絵伝が出品
されます。増上寺本は13世紀にさかのぼると
みられる秀逸な絵巻です。

5 ●聖徳太子絵伝

鎌倉時代・14世紀 茨城・妙安寺蔵
(第1・2幅10月25日～11月13日展示)
(第3・4幅11月15日～12月4日展示)

2センチほどの顔がほんのりと紅潮している
ところなど、いつまでもみていたい一品です。

この展覧会には「二河白道図」が四
点出品されます。それぞれに重視する
モチーフが異なり、この絵を求めた人
のさまざまな立場が想像されます。そ
のポイントを比較して鑑賞いただき
ますと、また新たな発見があると思っ
ます。
(瀬谷愛)

オススメ★ベスト5

1 ●教行信証(坂東本)

親鸞筆 鎌倉時代・13世紀 京都・東本願寺蔵
(会期中2週毎に頁替えあり)

2 ●源空(法然)書状

鎌倉時代・13世紀 京都・清凉寺蔵
(10月25日～11月13日展示)

熊谷直実に対し、念仏だけが極楽往生への
道であると諭した手紙。念仏への強い信念
と細やかな心くばりが伝わってきます。

3 ●選択本願念仏集

鎌倉時代・12～13世紀 京都・盧山寺蔵
(10月25日～11月13日展示)

選択本願の教えを記した浄土宗の根本聖
典。巻頭の「選択本願念仏集 南無阿彌陀仏
(往生之業/念仏為先)」の21文字は法然の
真筆と伝えています。

4 ●法然上人伝記

江戸時代・17世紀 京都・醍醐寺蔵

法然の弟子の源智が語った法然の行状をそ
の門弟が編集したもの。「善人なをもて往生
す、いはんや悪人をや」の言葉は法然が弟子
に口伝したことを明らかにしています。

5 ●恵信尼自筆書状類

鎌倉時代・13世紀 京都・西本願寺蔵
(11月5日～12月4日展示)

親鸞の妻、恵信尼が娘の覚信尼にあてた手
紙。妻の視点からその素顔がうかがえる
というのは、日本の中世史のなかでは、珍しい
例といえます。

◎二河白道図

京都・光明寺蔵

二河白道(二河譬)は、法然が敬慕
した中国唐時代の浄土教家・善導がそ
の著書『観無量寿経疏』にあらわした、
極楽往生のたとえ話です。法然が『選
択本願念仏集』に、親鸞が『教行信
証』などに紹介し、鎌倉時代に日本で
初めて絵画化されました。

画面の下側、こちらの岸は釈迦が見
送る現世を表します。欲望や誘惑が絶え

ない苦しい世界(穢土)です。画面の上
側、向こう岸は阿彌陀仏が迎える極楽
を表します。金や宝石で輝く、きよらか
な世界(浄土)です。このふたつの世界
をつなぐ白い道(細い線のようなもの)が
見えますか?は、強い煩惱(水火の河)
に侵されやすい清浄な善心。往生者は
恐怖心や煩惱をはらいながら、釈迦に励
まされ、阿彌陀に守られて、この白い道

を進んで極楽へと往生します。

ただし、二河白道は美しい話だけで
終わりません。その興味深いところは、
往生人を惑わして現世に呼び戻そうと
する群賊、すなわち「別解・別行・悪見
人」が表されるところにあります。法
然は、善導が言う「別解・別行」は自力
をたのむ「聖道門」を示すと『選択本願
念仏集』に明記し、のちに明恵ら旧来
の宗門の大きな反発を買いました。そ
のモチーフとみられる人がこの絵のな
かに僧侶の姿で登場するのは、たいへ
ん刺激的です。



◎教行信証(坂東本)

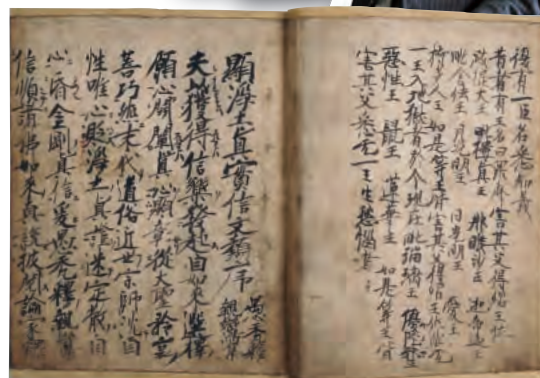
京都・東本願寺蔵

高橋裕次「書跡担当研究員」の
オススメ★ベスト1

「教行信証」は、親鸞が浄土
真宗の教義の綱格を示した根本
聖典です。この本は、坂東(関東)の報
恩寺に伝来したことから「坂東本」とも
称されるもので、唯一の親鸞自筆本で
す。内容は、仏教の経・論・釈の中の重
要な文を、六項目に分類して引用し、
随所に自釈を加えています。引用文に
は、親鸞の独自の読みかたを示す訓点
が施されており、その宗教的世界観が
表されているといえます。さらに「自釈」
とは、親鸞自身の言葉を記したもので、
いわば親鸞の肉声というべきものです。

元仁元年(一二二四)、親鸞が五十
二歳の頃に書き始め、関東に在住して
いた時に、その原型ができあがり、京
都に戻ってから原本を清書し、さらに
推敲を重ねて、七十五歳の頃に完成し
たと考えられています。この坂東本は、

訂正校合のあとが多いので、古くより
草稿本といわれていました。その後、
全体の八割は親鸞が六十歳前後の頃の
筆跡で、八十歳を過ぎても加筆や訂正
を行っていたことがわかってきまし
た。一頁八行書きは六十歳頃の筆で、
七行書きは八十五、六歳頃の筆とされ
ています。おそらく親鸞は、本書をい
つも身近に置いて、推敲を加えていた
のであり、生涯をとおして真摯な研鑽
につとめた親鸞の求道の姿が伝わって
きます。
(高橋裕次)



JAPANESE MASTERPIECES FROM THE MUSEUM OF FINE ARTS, BOSTON

ボストン美術館 日本美術の至宝 特別展

2012年春 ボストンから
史上最大の日本美術展がやってくる！
まぼろしの国宝が
揃って里帰りします。

2012年
3月20日(火・祝) —
6月10日(日) 平成館

POSTON



「東洋美術の殿堂」と称されるアメリカのボストン美術館には、十萬点を超える日本の美術品が収蔵されています。明治の日本において美術の調査ならびに啓蒙活動に重要な役割を果たしたアーネスト・フェノロサと岡倉天心を指導者として、はじまった同館の日本美術コレクションは、その規模のみならず質においても世界を代表するものとなっています。

仏像と仏画、絵巻、中世水墨画から近世絵画、そして染織・刀剣など、厳選された約九十点の作品を紹介するもので、その中には曾我蕭白の「雲龍図」など初の里帰り作品が二十七点含まれています。海を渡った「まぼろしの国宝」が一堂に里帰りする本展は、一九八三年以来となる東博でのボストン美術館展です。

(田沢裕寛)

特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」 2012年3月20日(火・祝)～6月10日(日) 平成館

主催：東京国立博物館、ボストン美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

観覧料金：一般1,500円(1,300円 / 1,200円)、大学生1,200円(1,000円 / 900円)、高校生900円(700円 / 600円)

* ()内は前売り / 20名以上の団体料金。中学生以下無料*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600 展覧会ホームページ：<http://www.boston-nippon.jp/>

◆巡回予定	名古屋ボストン美術館	2012年6月23日(土)～9月17日(月・祝)、 2012年9月29日(土)～12月9日(日)
	九州国立博物館	2013年1月1日(火・祝)～3月17日(日)
	大阪市立美術館	2013年4月2日(火)～6月16日(日)

①雲龍図(部分)

曾我蕭白筆 江戸時代
宝暦13年(1763)
門外不出とされてきた蕭白幻の代表作

②平治物語絵巻(部分)

鎌倉時代・13世紀
構成力に優れ合戦絵巻の最高傑作と称される

③馬頭観音菩薩像(部分)

平安時代・12世紀
院政期の仏画を代表する優美な作風

All photographs
© 2012 Museum of Fine Arts, Boston

東洋館

名品を生んだ
文人の書斎

中国の絵画・書跡は、現在、本館特別1室で小規模に臨時の展示をしています。改装が終わった後の東洋館では、以前と同じ第8室で展示します。

第8室は、東洋館が建てられたとき、中国の巨大な掛軸をも展示できるように、もともと天井が高くなるように作られた展示室です。今回の改装で、低反射ガラスとLED照明を備えた展示ケースに改めただけでなく、「文人の書斎」コーナーを設けます。

このコーナーでは、絵画・書跡だけでなく、文房具(硯・筆筒など)や工芸品なども用いて、中国の絵画・書跡を生み出した文人の書斎の雰囲気を味わっていただこうと思います。(白井克也)



雑画冊
陳鴻壽筆 清時代・嘉慶22年(1817)
青山慶氏氏寄贈
陳鴻壽は書家・画家であり、篆刻家としても著名な清時代の文人。(2011年11月15日～12月11日、本館特別1室で展示)

秋草蒔絵見台

安土桃山～江戸時代・16～17世紀

本館12室で11月22日(火)～2012年2月12日(日)展示



色絵紅葉賀図茶碗

仁清 江戸時代・17世紀 山本富子氏・山本賢二氏寄贈

本館8室で9月27日(火)～12月11日(日)展示

10月29日(土)～12月11日(日)
本館北側の庭園が開放されます。

秋の庭園開放

名作と庭園
ダブルで楽しむ
日本の秋

さわやかな秋晴れの日に、庭園を散策してみませんか？ 黄色く燃え立つ応挙館前の銀杏の大木、鮮やかな影を池におとす楓など秋の東博の景色をゆっくりお楽しみください。

そして当館ならではの楽しみは展示室の中の秋の風景です。この時期、本館各展示室では、紅葉や秋草のモチーフの作品や、紅葉狩を描いた作品が多数展示されます。

色絵紅葉賀図茶碗、小袖 白綸子地枝垂楓笠模様など工芸作品には、暮らしの中に季節の彩りを取り込んだ日本ならではのこまやかな感性が感じられます。

なんといっても見逃せないのは、本館2階国宝室に展示される国宝 観楓図屏風です。川のほとりでお弁当を広げ 歌や踊りに興じる人々、紅葉の名所、京都・高雄の紅葉狩りを名画で楽しんでください(本誌9ページ参照)。

(小林牧)



小袖 白綸子地枝垂楓笠模様

江戸時代・18世紀

本館10室で10月12日(水)～12月11日(日)展示

色絵秋草図茶碗

薩摩 江戸時代・18～19世紀 内藤堯宝氏寄贈

本館8室で9月27日(火)～12月11日(日)展示



●観楓図屏風 狩野秀頼筆 室町～安土桃山時代・16世紀

本館2室 国宝室で11月15日(火)～12月11日(日)展示

秋の庭園解放

期間:10月29日(土)～12月11日(日)

時間:10:00～16:00

場所:東京国立博物館 庭園(本館北側)

入口:2ヵ所あります。

(1)本館を正面に見て右側、レストランゆりの木側の入口

(2)本館を正面に見て左側、平成館との間の入口

料金:入園無料(ただし、入館料は必要)

*お茶室の中に入ることはできません。また、お茶室貸出利用時はお茶室を間近でご覧いただけません。

*荒天時には庭園開放は中止となり、その翌日も庭園の状態により中止する場合があります。庭園開放中止の場合は、正門の掲示、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

平安時代から江戸時代までに用いられた
刀剣や甲冑などの武具に加えて、
武士の肖像画や書を展示します。

かしどりとかなたあかむしのとうまる
◎**梶鳥糸肩赤威胴丸**
室町時代・15世紀 秋田一季
氏寄贈
胴に兜・袖を加えた三ツ物完
備の代表的な胴丸。陸奥の
三春藩主秋田家伝来

本館 ⑤室
武士の装い
— 平安～江戸



4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで
育まれた美術を紹介します。



10/4 火—12/11 日
瓢花入 江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
瓢箪を茶道具として使い出したのは千利休とい
われます

本館 ④室
茶の美術

必見

9/21 水—10/30 日

◎**四季山水図(秋)**
雪舟等楊筆 室町時代・
15世紀
雪舟が中国滞在中に描い
たと考えられる大作です。
秋・冬揃って展示されま
す



11/1 火—12/11 日

一休宗純と大徳寺ゆかりの水墨画、
墨跡を展示します。

◎**一休和尚像** 没倫紹等賛
室町時代・15世紀 岡崎正也氏寄贈
ぼさぼさの髪、伸び放題の髭。一休の姿が
活写されています



3

禅と水墨画 — 鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した
水墨画と墨跡をご覧ください。

本館 ③-③室
禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 ③-②室
宮廷の美術
— 平安～室町

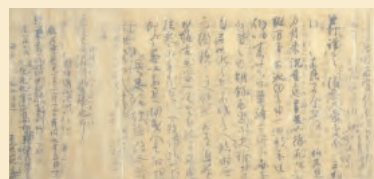
本館 ③-①室
仏教の美術
— 平安～室町

3

宮廷の美術 — 平安～室町

平安から室町までの貴族社会から
生まれた書とやまと絵の世界。

9/21 水—10/30 日
◎**延喜式 卷三十九 紙背文書 源兼行書状**
源兼行筆 平安時代・11世紀
この文書により平等院鳳凰堂の色紙形や
『桂本万葉集』の筆者と判明しました



2

国宝室

絵画・書跡の名品を
ゆったりとした空間で
心静かに鑑賞していただく
ための展示室です。



◎**台州温州公験・太宰府
公験・福州公験(円珍関係
文書の内)**
平安時代・仁寿3年(853)/
中国・唐時代・大中7年(853)

11/1 火—12/11 日

古今和歌集の書写と古今
伝説故実の秘事口伝を授
けること)をとりあげます。

◎**牡丹花肖柏像**
大永7年(1527) 常庵龍崇
賛 室町時代・16世紀
肖柏は室町時代の連歌
師。飯尾宗祇よりうけた
古今伝授の書も併せて展
示します



9/21 水—10/30 日

◎**伝源頼朝坐像**
鎌倉時代・13～14世紀
鎌倉時代以後に流行した武士の
俗体形の一例です

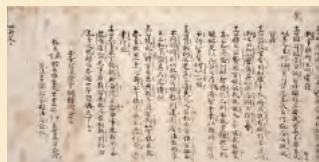


3

仏教の美術

— 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の
多様で多彩な世界をご覧ください。



11/1 火—12/11 日

◎**四天王寺縁起残巻**
惟宗季重筆 平安時代・承安3年(1173)
京都・三十三院蔵
聖徳太子の『十七条憲法』などを収め、太
子信仰のあり方を考える上で貴重です

1

日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から
古墳時代の代表作品を紹介します。

5/10 火—12/11 日

さまざまな文様をもつ銅鐸に加えて、
各時代の代表作品を取り上げます。

◎**横帯文銅鐸** 弥生時代(中期)・前2
～前1世紀 伝岡山市北区足守出土
徳川頼貞氏寄贈

身には大きく見開いた目がつく。これ
は邪悪なものを追い払う目か?



1

仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての
仏像や経典など、古代の
仏教美術を紹介いたします。

9/21 水—12/11 日

◎**日光菩薩坐像**
奈良時代・8世紀 京都・高山寺旧蔵
整った顔立ちや自然な衣文表現な
ど、当時の最も正統な作風を伝えて
います



11/1 火—12/11 日

◎**興福寺鎮壇具 延金**
奈良時代・8世紀
興福寺の須弥壇下より掘り出された砂
金と金塊です



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

11/8 火 12/11 日 鷹狩図は、屏風を展示室の角に垂直に配置して展示。



鷹狩図屏風

久隅守景筆 江戸時代・17世紀
東京・日東紡績株式会社蔵
鷹匠の動き、鷹や鶴、白鳥の描写に卓抜した画技の高さがみえる

9/27 火

11/6 日

秋の深まる情景を描いた屏風。

秋冬山水図屏風

円山応挙筆 江戸時代・18世紀
林の影に隠れる月が秋の静けさを知らせる

5

6

武士の装い — 平安～江戸

袴 鶴茶麻地松葉小紋 (三つ葉葵紋付) 伝徳川綱吉所用 江戸時代・19世紀
袴は江戸時代、武士が出仕する際の正装

10/12 水

12/11 日

8/9 火 10/30 日

南蛮胴具足 安土桃山時代・16世紀
舶来の甲冑の胴にならって、製作されたという具足です

本館 7 室

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

本館 6 室

武士の装い — 平安～江戸

8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

9/27 火 12/11 日

季節に合わせ、秋に因んだ意匠の品々をご覧ください。

草花漆絵食籠

谷田忠兵衛作 江戸時代・18世紀
伊藤甲子之助氏寄贈
作者は徳島藩主蜂須賀重喜の御用をつとめ、彩り豊かな作風で知られる

8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

9/27 火 11/6 日

江戸時代を通じて宮廷文化をになった貴族たちの書。

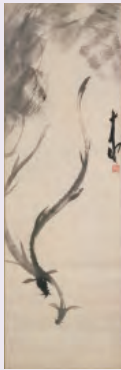


聚楽第行幸和歌巻 鳥丸光広筆 江戸時代・17世紀

破天荒な貴族として知られた鳥丸光広の字は、その性格を示すような型破りな豪放さが特徴です

鰻図 林十江筆 江戸時代・19世紀

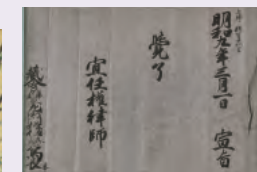
鰻が文字のようで、画家のサインが鰻にみえる点に注目



11/8 火

12/11 日

江戸時代の著名な文化人の書と古文書を展示。江戸時代後期の絵画の妖しさをご覧ください

口宣案 江戸時代・明和9年(1772)
平安時代に始まる朝廷の公文書の様式は江戸時代まで受け継がれます◎葡萄図 立原杏所筆 江戸時代・天保6年(1835)
主君の御前で酔いにかかせて絵筆をとった作品

9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

10/12 水 12/11 日

幕末に大興で活躍したお狂言師・坂東三津江の衣装を中心に、男性役を中心とした衣装を展覧する。



羽織 萌黄縹子地的矢模様

江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
大きな矢の模様は「ひらかな盛衰記」の梶原源太景季の騎射の腕を象徴おみころ あさぎ びろーどじきすいもよう 小忌衣 浅葱天鷲絨地菊水模様 江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
お殿様の部屋着も歌舞伎衣装ではロック・スタイル!

本館 9 室

能と歌舞伎

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

9/21 水 10/16 日

最近人気の歌川国芳武者絵と美人図を中心に。

通俗水滸伝豪傑百八人之壹人・浪裡白跳張順 歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
国芳水滸伝の代表作

10/18 火 11/13 日

歌川国芳を中心とした第2回目、風景画を中心として。他の絵師の秋の浮世絵を加えます。

東都御殿川岸之図 歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
雨・空・遠景の描写に、西洋版画に触発された写実の眼差しがうかがえる

11/15 火 12/11 日

見立てなどの忠臣蔵を題材としたさまざまな作品に、北斎などの肉筆浮世絵を加えて。

飲々楼遊興

鳥居清長筆 江戸時代・18世紀(3枚続のうち)

『仮名手本忠臣蔵』(祇園一力茶屋)の見立てになっています



注目の特集

やまと絵の板谷家に注目する初企画

注目 特集陳列

「板谷家の絵画と

その下絵」

10月25日(火)～12月4日(日)

● 本館特別2室 企画展示

みなさんは板谷家というやまと絵師の一家をご存じでしょうか。やまと絵を得意とした流派といえど土佐派、あるいはその分派で江戸時代に御用絵師として活躍した、住吉派がよく知られています。板谷家はこの住吉家四代広守(一七〇五～一七七七)のとき、弟子広当(一七三〇～一七九七)が息子の広行(一七五五～一八一二)を住吉家の養子にし、自らは改めて御用絵師として召し出されたことに始まります。

東京国立博物館は平成二十一年度、板谷廣起氏より、代々大切に保



板谷広当像

住吉広尚筆 江戸時代・18世紀

『考古画譜』にも紹介されている肖像画。板谷家伝来の広当像と比較してわかったことが……答えは会場で

管されてきた一万点以上にのぼる絵画・文書資料をご寄贈いただきました。この特集陳列では、前述の記念的な三人の肖像画をはじめ、住吉家・板谷家の絵師たちが描いた本画と板谷家伝来の下絵類、古文書、印章など二十八件をご紹介します。

本画と下絵類を比べてみると、関係がありそうでなさそうで……。板谷家の総合的な研究はまだ始まったばかりですが、この展示がきっかけとなり、いろいろな視点の議論や新知見が生まれることを願っています。

(瀬谷愛)

やきものの歴史の断片

注目 特集陳列

「陶片の美」

10月4日(火)～12月4日(日)

● 本館14室 企画展示

東京国立博物館には窯址出土の陶片資料が収蔵されています。産地の同定など、陶磁史の研究には欠かせない基本資料ですが、これまでまとまった形で公開されることがありませんでした。

陶片はさまざまなことを語りかけてくれます。製作技法などについて、貴重な情報が得られます。また、しばしば伝世品にはみられない技法や文様の陶片もみられます。これらは

時とともに忘れ去られていった「歴史の断片」といえるでしょう。

今回は、御室仁清窯址出土陶片、水町和三郎氏収集の唐津焼、伊万里焼の陶片、米内山庸夫氏収集の中国越州窯および南宋郊壇下官窯の窯址出土陶片を展示いたします。出自の明らかな「かけら」から、当初の姿、そして陶磁器の歴史の実像に思いを馳せてください。

(今井敦)

百間窯址出土陶片

伊万里
江戸時代・17世紀
佐賀県武雄市山内町宮野出土
初期の伊万里焼の窯で、特色ある製品を焼いています



上野の山のその昔

注目 特集陳列

「東叡山寛永寺」

10月12日(水)～11月20日(日)

● 本館16室 歴史資料

東叡山寛永寺は、江戸城の鬼門を守るために徳川三代の將軍の帰依を受けた慈眼大師天海が寛永二年(一六二五)に創建し、時の年号「寛永」を寺号とすることを許されました。住職には代々出家した親王(法親王)が就任し、日光山の住職と天台座主を兼ねて「輪王寺宮」と呼ばれました。上野の山全域に広大な寺地を占め、格式を誇りましたが、一方でこの地は、江

東都上野東叡山之図

玉川舟調作
江戸時代・18～19世紀
今も昔も変わらぬ上野の賑わい



気になるこの部屋・この作品

本館 2 室 国宝室

洛北・高雄の紅葉狩り

国宝 観楓図屏風

11月15日(火)〜12月11日(日)



●観楓図屏風 狩野秀頼筆 室町〜安土桃山時代・16世紀
紅葉よりお茶、お酒、美味しいものとおしゃべり

紅葉の名所として名高い洛北・高雄の清滝川のほとりでは、車座になって酌み交わし、謡って舞う武士や美しい喝食を連れて誇らしげな禅僧、艶やかな着物でおしゃべりに夢中になっている女性たちが秋の彩りを楽しんでいます。さまざまな人々が応仁の乱後のつかの間の平穏なひとときを謳歌しているのです。

秋冬の情景のみを描いたこの屏風は、もとは春夏の風情を描いたもう一隻―あるいは吉野山の桜―とともに四季の名所絵であったのかもしれない。

(松嶋雅人)

本館 3 室 宮廷の美術

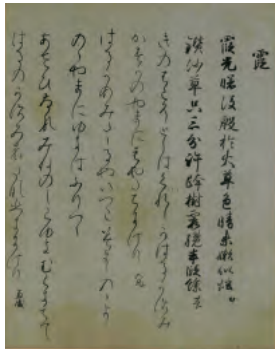
源兼行とその系統の書

関戸本和漢朗詠集切

9月21日(水)〜10月30日(日)

源兼行(活動確認期一〇二三〜七四)は、後冷泉・後三条・白河天皇の大嘗会(天皇が即位後はじめて行う新嘗祭の節会)の悠紀主基屏風の色紙形を揮毫したほどの能書です。

国宝「延喜式」巻第三十九の紙背文書に兼行の書状が残されていたことから、宇治の「平等院鳳凰堂色紙形」「高野切本古今和歌集」第二種書風、御物「桂本万葉集」ほか数々の名筆が兼行の手であることが判明しました。今回は、「関戸本和漢朗詠集」と、兼行自筆の「書状」とともに、その書風に知らなる「名家家集切」も紹介します。(恵美千鶴子)



関戸本和漢朗詠集切
源兼行筆 平安時代・11世紀
漢字と仮名の調和が見所です

本館 10 室 浮世絵と衣裳―江戸(浮世絵)

国芳四十図を二回に分けて展示

東都三ツ股の圖

10月18日(火)〜11月13日(日)



東都三ツ股の圖 歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
江戸のスカイツリー?として最近話題の図

本年は、幕末に活躍した歌川国芳(一七九七〜一八六一)が没して百五十年目にあたります。自由な発想と反骨精神に満ちた国芳が生み出した作品は、グラフィックデザイナーとしての評価も加え、近年世界的に注目を集めています。当館でも、二回に分けて各二十図、あわせて四十図の国芳作品を展示いたします。俠気あふれる国芳は、まさに幕末の江戸っ子。第一回は、その名を高くし、水滸伝ブームを巻き起こした「通俗水滸伝豪傑百八人之壺人」シリーズを中心に武者絵と美人画、第二回は、洋風表現で知られる風景画を展示します。(田沢裕賀)

本館特別 1 室

時の流れを描く

国宝 紅白芙蓉図

10月18日(火)〜11月13日(日)



●紅白芙蓉図
李迪筆 南宋時代(慶元3年(1197))
観ていると、まるで自分が映し出されるような高い描写も魅力です。

「紅白芙蓉図」は南宋の宮廷画家である李迪の作品です。中国絵画の面白ところは、眼に見えないものを描くことにあります。この作品で描かれているのは時間です。実際の酔芙蓉を観察すると、朝方はやや緑から白く、午後は過ぎたあたりからピンクになっていきます。花は一時も同じ姿はありません。むかつて左が白い芙蓉、右が紅い芙蓉で、一面のなかにも刻々と変化していく時間の流れが表現されています。まさに東博が世界に誇る、中国絵画史上の傑作の一つです。(塚本磨允)

刻文匱

8月2日(火)〜12月25日(日)

一ミリに満たない究極の薄さの容器に、金銀宝石で飾られた金具。今回の展示では、古代中国の青銅器にみる超絶技巧に注目します。

中国では前六世紀以降、さまざまな金工技術が発達しました。たとえば、青銅器の表面を敲いて薄くする技術や、文様を細かく彫刻する技術もそれに当たります。とくに彫刻技術は、金銀をはめこむ溝を表面に彫りこむなど、青銅器の華麗な装飾にも一役買いました。当時の最先端の金工技術が可能にした、青銅器の軽妙な造りと華やかな装飾をお楽しみください。(川村佳男)

刻文匱 戦国時代・前5〜前4世紀

1ミリ未満のごく薄い青銅器で、内面全体に細い線で魚などの文様を刻んでいます



○部分を上から見たとき魚の文様が見えます(白線は文様をトレース加工したものの)

この秋、
根付展示室
オープン!!

2011年11月1日(火)【本館2階】

高円宮 コレクション オープン室


Netsuke
The Prince Takamado
Collection



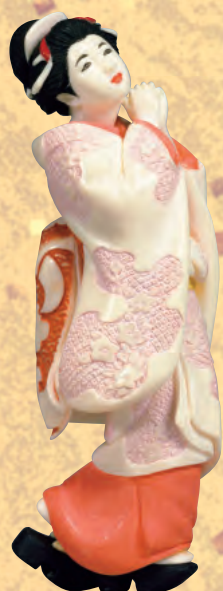
オーロラⅡ
福山恒山作 1998年
マンモス牙、海松 5.2cm



いなく
立原寛玉作 1992年
象牙 2.6cm



コロンブスの卵
高木喜峰作 1995年
琥珀、24金 3.8cm



お願い
駒田柳之作 1989年
象牙 7.8cm



人魚
佐田澄作 1998年
象牙 4.8cm



鍍瓦に蟬
小林仙歩作 1989年
象牙 3.9cm



こうもり
糟谷一空作 1996年
マホガニー 5.3cm



カモノハシ
スーザン・レイト作 1996年
黄楊 4.9cm



馬
グレッグ・ストラディオット作
1993年
セイウチ牙化石 7.3cm

世界的に有名な現代根付の蒐集。
根付 高円宮コレクション。
本館(日本ギャラリー)に
新しく高円宮殿下が蒐集された
根付の展示室がオープンします。

このたび、故高円宮殿下が妃殿下とともに蒐集された根付コレクションを、東京国立博物館にご寄贈いただくことになりました。

根付は印籠や煙草入れ、巾着などを腰に提げる際、紐の端につけた留め具です。

明治時代以降、このような提げ物を身に着ける習慣は失われてしまいましたが、根付の巧緻をきわめた彫技は、欧米の美術愛好者の心を捉えました。今でも

根付のファンやコレクターは海外に多く、

その要望に応えた作家たちは現代まで根付を制作、発表し続けています。

殿下はこうした現代根付を日本国内に残し、国のしかるべき施設で展示することが必要だとお考えになり、積極的に蒐集されました。

現代根付にはさまざまな素材が用いられており、一つ一つに斬新な創意と工夫が凝らされています。世界的に有名な殿下のコレクションを拝見するとき、どなたにも現代根付の魅力をご理解いただけるでしょう。

(竹内奈美子)

柳瀬荘 アート・教育 プロジェクト



柳瀬荘「黄林閣」東武東上線志木駅から跡見女子大行きバスで15分。「中野」下車徒歩5分(日曜日運休)。西武新宿線・池袋線所沢駅から(武蔵野線東所沢駅経由)志木駅南口行きバスで25分「西側」下車徒歩3分。通常は毎週木曜日10:00～15:00公開(4月～9月は16:00まで) 現地お問合せTEL:04-2944-2009

埼玉県所沢市の「柳瀬荘」において、地域に眠る文化・芸術・自然・建造物から生まれるアートの開拓と地域との対話を企画テーマにして、当館と日本大学芸術学部の共催により、美術鑑賞と教育普及のプログラムを実施します。

絵画や版画、彫刻の作品展では、古民家と現代アートのコラボレーションをお楽しみください。

ワークショップでは、参加者全員で庭の竹を切り出して、竹のドームを組み上げ、共同作業の楽しさを体験する等、多彩なプログラムを用意しました。

「柳瀬荘」は、実業家、また茶人としても名高い松永安左エ門氏(耳庵)の旧別荘で、昭和二十三年(一九四八)に当館にご寄贈いただきました。五千坪を超える敷地には、武蔵野の面影を今にとどめる雑木林の中、江戸時代の民家「黄林閣」(重要文化財)、書院造りの「斜月亭」、茶室の「久木庵」があります。

通常は毎週木曜日、外観のみ無料で公開していますが、期間中は特別に建物の内部も見学することができますので、ぜひこの機会に足をお運びください。

日本大学芸術学部美術学科 絵画・版画・彫刻教職員による作品展

テーマ 『柳瀬荘の「今」』—古民家における数寄の趣と「今」との混在から生じる空間

●「会期Ⅰ期」—彫刻作品の展示

日時:10月6日(木)～30日(日)(木～日のみ開催)10:00～16:30

出品者:建畠朔弥、大槻孝之、鞍掛純一、富井大裕、小倉洋一、海崎三郎、北澤一伯、佐藤晃、佐藤久仁子、鷹尾俊一、松本隆、村井進吾、内山翔二郎、正親優哉

*アーティストトーク

10月30日(日) 14:00～16:00

●「会期Ⅱ期」—絵画、版画及び立体作品の展示

日時:11月3日(木)～11月27日(日)(木～日のみ開催)10:00～16:30

出品者:有地好登、福島唯史、笹井祐子、荒木珠奈、剣持和夫、櫻井孝美、田中康二郎、古谷博子、横尾哲生、設楽俊、宮澤真徳

*アーティストトーク

11月27日(日) 14:00～16:00

*入場料・参加費はすべて無料です。

*ワークショップは事前申込制です。「講座名、住所、氏名、学年(年齢)、電話番号、必要に応じて保護者名」を記入してFAXでお申し込みください。

*アーティストトークは参加自由です。

FAX:04-2993-2210「日本大学芸術学部所沢校舎庶務課・柳瀬荘アート・プロジェクト」宛

*総合問合せ先 日本大学芸術学部所沢校舎庶務課 TEL:04-2993-2211

ワークショップ「日光写真と手彩色」

ハイブリッド写真術で写真像を制作し、そのあと彩色をします。

日時:11月6日(日)10:00～15:00 *雨天中止

指導:鈴木孝史教授(写真学科)

対象:小学生から一般まで(小学生3年生以下は保護者同伴のこと)

定員:20名[応募締め切り:10月29日(土)まで]

ワークショップ 「竹のドームをみんなで作る」

工作キットの組み立てでは味わえない「ものと空間づくり」を体験し、チームワーク、協調の重要性を学びます。

日時:11月13日(日)10:00～16:00 *雨天中止

講師:桑原淳司教授(デザイン学科)

対象:小学生から一般まで(小学生3年生以下は保護者同伴のこと)

定員:20名[応募締め切り:11月7日(月)まで]

講演会

室町時代の舞楽装束

特集陳列「日本美術の流れ 能と歌舞伎(室町時代の舞楽)(8月9日～10月10日)」に関連した講演会です。

日時：10月1日(土)13:30～15:00

講師：小山弓弦葉(工芸室主任研究員)

呉昌碩の書・画・印

台東区立書道博物館との連携企画、特集陳列「呉昌碩の書・画・印(9月13日～11月6日)」に関連した講演会です。

日時：11月5日(土)13:30～15:00

講師：富田淳(列品管理課長)

鍋島稲子氏(台東区立書道博物館主任研究員)

*開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員:380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

呉昌碩について

日時：10月4日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：富田淳(列品管理課長)

書・画・印の魅力とともに、新資料を通して朝倉文夫・長尾雨山との交流についてご紹介いたします。

こんなに楽しい中国絵画

日時：10月18日(火)14:00～14:30 本館特別1室

講師：塚本鷹充(東洋室研究員)

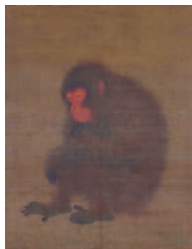
一見難しそうなお中国絵画。その魅力をお話します。

肥前の古窯址出土陶片

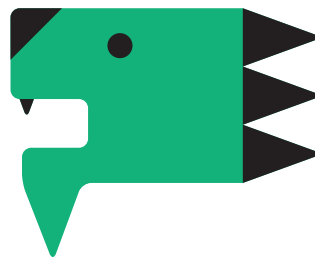
日時：10月25日(火)14:00～14:30 本館14室

講師：今井敦(博物館教育課長)

古窯址出土の陶片が語ること、そして陶片の魅力についてお話します。



◎猿図
伝毛松筆 南宋時代・13世紀



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

板谷家のはじまり

日時：11月1日(火)14:00～14:30

本館特別2室

講師：瀬谷愛(平常展調整室研究員)

御用絵師の家としてはじまり。板谷家研究のはじまり。いろいろな事始めのお話をします。

国宝 観楓図屏風

日時：11月15日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：小野真由美(出版企画室研究員)

洛北・高雄での紅葉狩りの宴を描いた名品です。本作品を中心に「野外遊楽図」についてお話します。

頭上に宇賀神をあらわす弁才天像

日時：11月22日(火)14:00～14:30 本館20室

講師：浅見龍介(東洋室長)

弁才天は、インド神話の女神に由来します。その頭の上に日本古来の神である宇賀神を表した鎌倉時代の像について解説します。

長船長光の太刀

日時：11月29日(火)14:00～14:30 本館13室

講師：酒井元樹(平常展調整室研究員)

作品の見どころやその魅力について解説します。



勿来関図 板谷広当筆
江戸時代・寛政6年(1794)

1000年後の未来に パトンタッチ！

保存と修理情報 7

被災した岩手県陸前高田市の博物館を支援する



■銀行振込の場合

銀行口座 三井住友銀行 上野支店
普通 6615496

口座名義 公益財団法人文化財保護・
芸術研究助成財団

*銀行振込の場合、振込者の確認が難しいため、
領収書、お礼状の発行等の必要上、同財団事務局
に事前に連絡をいただくと幸いです
電話:03-5685-2311

■郵便振替の場合

振替番号 00160-5-12319

加入者名 公益財団法人文化財保護・
芸術研究助成財団

*通信欄に「地震」とお書きください



専門家の不足など、困難な点を数え
上げればきりがありません。
しかし、それらを一つ一つ克服
しながら、復興のシンボルとして
これら被災文化財をいつの日か再
び皆さまの前に展示できるよう全
力で取り組んでいます。東博も息
長く支援を続けてまいります。館
内に義援金箱を設置いたしております。
皆さまのご支援、よろしくお願
いします。

(保存修復課長・神庭信幸)

ファミリーワークショップ 「考古学者に挑戦！」

「考古学」と聞いて、皆さんはどんなことを思いかれますか？土の下に埋まったもの、土器、はにわ、縄文時代、発掘、石器……など、さまざまな言葉が浮かんでくると思います。

私たちの足もとに埋まっけていて、発掘された「考古遺物」は、私たちにたくさんのことを教えてくれます。「考古遺物」から、どのようにむかしの人びとの暮らしについて調べ、想像し、理解するのでしょうか。実際の発掘調査と同じ道具を使ってワークショップを体験し、考古学者だけが知っているコツと秘密を、そっと教えてもらいましょう！

日時：①10月15日(土)13:00～16:00

②10月16日(日)13:00～16:00(2回とも同じ内容です)

対象：小学生とご家族

定員：各回10組(応募者多数の場合抽選)

会場：平成館小講堂

参加費：無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで①参加者全員の氏名(ふりがな)・学年②代表者の郵便番号・住所③代表者の電話番号・FAX番号を記入の上、下記申込先へお送りください。当館ウェブサイト上の申込フォームか

らもお申し込みいただけます。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「考古学者」係

FAX：03-3822-3010 電子メール：edu@tnm.jp(件名に「10月15日(あるいは16日)考古学者」とご記入ください)

締切：①、②ともに9月29日(木)必着

*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問い合わせください。お問合せ：電話03-3822-1111(代表)



⑤土偶
縄文時代(晩期)・前1000～前400年 青森県つがる市木造亀ヶ岡出土



「考古遺物」には、こんなものがあります。
火焰土器
縄文時代(中期)・前3000～前2000年 伝新潟県長岡市馬高出土

こどもたちのアートスタジオ

まがたま
勾玉作り

ボランティアによる大人気の定番プログラムです。平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を削って実際に勾玉を制作してみましょう。自分だけのオリジナル勾玉が作れますよ。できあがったものはお持ち帰りいただけます。

日時：11月6日(日)13:30～15:30(120分)

場所：平成館小講堂

対象：小学校3年生から高校生*保護者の方の見学も可能です(ただし当日の入館料が必要)

定員：10名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料が必要)

申込方法：往復はがき、または当館ウェブサイトの申込フォームで①参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さんの学年、②郵便番号・住所、③電話番号(FAX番号)④保護者が一緒の場合はその人数を記入の上、下記申込先へお送りください。

締切：10月17日(月)必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室「11月6日勾玉作り」係

*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、ボランティア室に電話でお問い合わせください。



表慶館トラベル

表慶館アジアギャラリーの教育イベント

表慶館の各展示室に西アジア・エジプト、インド・ガンダーラ、東南アジア、中国、朝鮮半島の美術品が展示されています。各国の美術品には作り手たちの宗教観や美意識が反映されています。

秋冬の表慶館の展示では、堅苦しくない方法で、展示作品と関連する各国の宗教観や生活にも思いを馳せてもらうため、さらに普段トーハクの展示は少し難しいと感じている小学生のお子さんにも楽しんでもらうために次のような企画を開催します。

これらの企画を楽しみながら、アジアを旅している気分で表慶館での鑑賞を楽しんでいただければ幸いです。

①「アジアの香り」対象：一般

②「まぼろしの作品調査書」対象：小学生とご家族

実施日時：10月1日(土)～12月25日(日)の間の土曜日、日曜日、祝日 11:00～16:00(時間内いつでもご参加いただけます)

プログラムの内容：①「アジアの香り」は毎週土曜日、②「まぼろしの作品調査書」は毎週日曜日、祝日はどちらかのプログラムを実施します(詳細は裏面カレンダーをご覧ください)。生涯学習ボランティアがご案内します。

実施場所：表慶館アジアギャラリー



ガネーシャ坐像
アンコール時代・12～13世紀
カンボジア、プッタのテラス北側
フランス極東学院交換品

東博ボランティアデー 2011

ミュージアムに一歩近づこう

国際ボランティアデーにあわせて、今年も12月3日(土)・4日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。

本館2階でお配りしているパンフレット「日本美術の流れ」。実は、生涯学習ボランティアが印刷していることをご存知でしたか。館内各所で案内をしているのもボランティア。そんな生涯学習ボランティアが集結し、「東博ボランティアデー」としてさまざまなイベントをおこないます。



通常の活動に加えて、2日間にわたり、この日だけの特別なガイドツアーやワークショップも計画中です。また、平成24年度生涯学習ボランティア募集のご説明もおこないます。東博のおもてなしを担うボランティアの姿を見に來られませんか(ボランティア募集については本誌15ページをご覧ください)。



イベント開催のお知らせ

～チャイコフスキーの最高傑作～千葉純子によるトリオコンサート

日時：12月11日(日) 開場13:30 開演14:00

会場：平成館ラウンジ

出演：千葉純子、川井綾子、海野幹雄

曲目：チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲 イ短調 作品30

「偉大なる芸術家の思い出に」

ショパン：序奏と華麗なるポロネーズ 作品3

サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン 作品20 ほか

料金：5,000円 友の会割引 4,000円 全席自由

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催：東京国立博物館 サロン・ド・ソネット

チケットのお求め方法

○当館正門観覧券売場でのチケット販売

受付時間：開館日の9:30～閉館の30分前まで(月曜休館 ただし10月10日は開館、翌日10月11日閉館)

○電話予約販売

申込先：東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝日は除く)

引換方法：公演当日、9:30～当館正門観覧券売場にて現金引換えにてお渡しします。

*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。*お車でのご来館はご遠慮ください。

「第8回 台東区の伝統工芸職人展」のお知らせ

毎年好評の「台東区の伝統工芸職人展」。今年も、平成館にて様々な分野の職人による製作実演を行います。

下町の風土の中で受け継がれてきた、職人の技と手づくりのぬくもりをご覧ください。

日時：2011年11月1日(火)～6日(日) 9:30～17:00

会場：東京国立博物館 平成館1階ラウンジ

料金：総合文化展料金でご覧いただけます。

主催：台東区 共催：東京国立博物館

協力：台東区伝統工芸振興会・台東区伝統文化振興会

お問合せ：台東区役所 文化産業観光部産業振興課 電話03-5246-1131

10月8日(土)は留学生の日 留学生をご招待!

日時：10月8日(土) 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

対象：日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)及び、その同行者
総合文化展(本館、表慶館、平成館1階、法隆寺宝物館)の観覧が無料となります。入館の際に学生証をご提示ください。

イベントスケジュール

○「日本美術の流れ」英語ガイド

時間 10:30～12:30、13:30～15:30

場所 本館2階1、4、5・6、7室でボランティアが待機し、作品の紹介をします。

○考古展示室ガイド 留学生にもわかりやすい日本語で解説します。

時間 12:00～12:30 集合場所 平成館考古展示室入口

○浮世絵ガイド 留学生にもわかりやすい日本語で解説します。

時間 13:30～14:00 集合場所 本館1階エントランス

○陶磁ガイド 留学生にもわかりやすい日本語で解説します。

時間 14:30～15:00 集合場所 本館1階エントランス

○法隆寺宝物館ガイド 留学生にもわかりやすい日本語で解説します。

時間 15:30～16:10 集合場所 法隆寺宝物館エントランス

○留学生のためのお茶会 留学生にもわかりやすい日本語で解説します。

時間 ①11:30～12:20、②13:00～13:50、③14:30～15:20

場所 庭園内 応挙館 定員 各回35名(整理券配布)

本館エントランスにて、①11:00、②12:30、③14:00から

各回先着35名に整理券を配布(整理券がなくなり次第受付終了)



特別展「法然と親鸞一ゆかりの名宝」招待券プレゼント

本誌2ページで紹介した特別展「法然と親鸞一ゆかりの名宝」(10月25日(火)～12月4日(日))の招待券を、抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は10月7日(金)必着。

○プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替させていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室

「ニュース10・11月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。

○年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

○主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けております。

○お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当

電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2011年8月31日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 スタイルカフェドットネット 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ソネット 様
シティバンク銀行株式会社 様

インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝学院 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットインアディブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
香道千香会 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクト・ヒューマンリッド 様
キョーリ製菓ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様

維持会員個人

木村 則子 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
数内 匡人 様
服部 禮次郎 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保 のり子 様
堀田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 楚 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様

永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
藤素一郎 様
秦 芳彦 様
杉原 健 様
木谷 賢一郎 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様

高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 晴也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様
山下 照夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
阿部 明美 様
東京ロータリークラブ 有志 様

土師 昭三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
高久 真佐子 様
平山 利恵 様
井出 雪絵 様
佐藤 祐一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
阿部 明美 様
東京ロータリークラブ 有志 様

酒井 弘文 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌之 様
鈴木 千壽 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増淵 信義 様
要 英範 様
樽本 英信 様
本條 陽子 様
西原 賢一 様
加藤 康幸 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みずえ 様
鳥山 玲 様
山形 哲也 様
ほか48名1社、順不同

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター上演作品のお知らせ

◎VR作品「国宝 聖徳太子絵伝」

10月1日(土)～12月25日(日)の金・土・日・祝日

法隆寺宝物館に収蔵される国宝「聖徳太子絵伝」。バーチャルリアリティ技術を用い、かつてあった法隆寺東院伽藍の「絵殿」に戻して鑑賞します。絵伝に散りばめられた聖徳太子の偉業や伝説の数々を、シアターの大画面に拡大して映し出し、ナビゲータがわかりやすく解説をします。

●10:00, 11:00, 12:00, 14:00, 15:00, 16:00 上演 各回30名



*当日予約制 上演開始10分前までに本館1階エントランスにて受付

VR作品「国宝 聖徳太子絵伝」より
[監修] 東京国立博物館
[制作] 凸版印刷株式会社
[協力] 法隆寺

金沢能楽美術館 平成23年度開館5周年記念特別展

「東京国立博物館所蔵 金春座伝来 能面・能装束」開催

加賀藩前田家の能は初代利家が豊臣秀吉にならって金春座を最真にしたことにはじまりましたが、現在では宝生流が主流となり金春流との関係はあまり知られていません。東京国立博物館の金春座伝来能装束・能面には、豊臣秀吉との関わりがうかがえる安土桃山時代のものをはじめとする名品が含まれています。本展では、その中から能面や能装束など重要文化財16点を含む全43点を前・後期に分けてご紹介し、加賀藩の能の原点である金春流の能を改めて見つめ直します。当館でも一堂に見る機会がまれな優品の数々、是非、行楽がてら秋の金沢をご覧ください。

(小山弓弦装)

会場 : 金沢能楽美術館

前期 : 10月1日(土)～10月23日(日)

後期 : 10月26日(水)～11月20日(日)

休館日: 月曜日

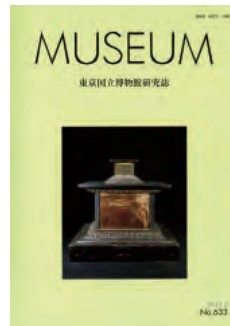
主催 : 東京国立博物館、金沢能楽美術館

[(公財)金沢芸術創造財団]



縫箔 茶地百合御所車模様
安土桃山時代・16世紀

MUSEUM633号(2011年8月15日発行)の掲載論文



①「法隆寺金堂 釈迦・阿弥陀三尊像台座板絵 四天王像をめぐる」岩田茂樹(奈良国立博物館学芸部長補佐)

②「『報告』フランス文化通信省、フランス国立科学研究センター、日本学術振興会主催による日仏ワークショップ『文化遺産保存のための科学』」神庭信幸(当館保存修復課長)

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展観「細川家の至宝—珠玉の永青文庫コレクション—」

10月8日(土)～11月23日(水・祝)

〈奈良国立博物館〉

特別展「第63回 正倉院展」

10月29日(土)～11月14日(月)

〈九州国立博物館〉

特別展「草原の王朝 契丹—美しき3人のプリンセス—」

9月27日(火)～11月27日(日)

ボランティア募集のお知らせ

平成24年度 生涯学習ボランティア募集

東京国立博物館では、来館者の生涯学習の機会の増大とサービスの向上を図るためにボランティアによるさまざまな活動を行っています。館内施設のご案内、教育スペース「みどりのライオン」での活動やワークショップ、講演会、イベント、バリアフリー対応などの運営補助、さらに、自主企画グループによるガイドツアーなども行っています。来館されるお客様に、より博物館を楽しんでいただくお手伝いをしてみませんか。12月3・4日の「東博ボランティアデー」では、応募を検討されている方への説明会を行います。お気軽にご参加ください。詳細は、当館ホームページ(<http://www.tnm.jp/>)あるいは本館インフォメーションで。

*お問合せ: 当館ボランティア室 電話 03-3822-1111(代表)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申し込み】

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

●振替手数料はお客様の負担となります

●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート

口座番号 00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当

FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担で自宅にお届けします

◎お申し込みは郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号 00100-2-388101

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

●振替手数料はお客様のご負担となります

●次号より送付ご希望の場合、締切は2011年11月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2011年7月～12月までの特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館

2011年5月～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2011年12月26日～2012年1月1日)。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2011・10

東京国立博物館 2011年10月・11月の展示・催し物

2011・11

1 SAT	月例講演会「室町時代の舞楽装束」13:30 平成館大講堂*1 香11:00 建11:00 樹13:30 本14:00 法15:00	
2 SUN	亀淵友香とVOJAによるコンサート 14:00*2 ま11:00 浮14:00 考14:30	
3 MON	休館日	
4 TUE	列品解説「呉昌碩について」14:00 平成館企画展示室 建13:00	
5 WED	浮14:00	
6 THU		
7 FRI	法15:00	
8 SAT	留学生の日 香11:00 陶14:30	
9 SUN	ま11:00 彫11:00 英13:00 浮14:00	
10 MON		
11 TUE	休館日	
12 WED	樹13:30	
13 THU	本14:00 庭14:00	
14 FRI	考14:30	
15 SAT	ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦!」13:00 平成館小講堂*3 香11:00 建(手話通訳付き)11:00 本12:00, 14:00 樹13:30 法15:00	
16 SUN	ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦!」13:00 平成館小講堂*3 ま11:00 茶12:30, 14:00 浮14:00	
17 MON	休館日	
18 TUE	列品解説「こんなに楽しい中国絵画」14:00 本館特別1室 建13:00	
19 WED		
20 THU	彫15:00	
21 FRI	法15:00	
22 SAT	香11:00 陶14:30	
23 SUN	ま11:00 彫11:00 英13:00 庭14:00	
24 MON	休館日	
25 TUE	特別展「法然と親鸞 ゆかりの名宝」 列品解説「肥前の古窯址出土陶片」14:00 本館14室	
26 WED	樹13:30	
27 THU	英13:00 本14:00	
28 FRI	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「法然と親鸞」18:00 平成館大講堂*4 考14:30	
29 SAT	香11:00 建11:00 法15:00	秋の庭園解放
30 SUN	ま11:00 浮14:00	
31 MON	休館日	

1 TUE	列品解説「板谷家のはじまり」14:00 本館特別2室 建13:00	台東区の伝統工芸職人展
2 WED	浮14:00	
3 THU	ま11:00	
4 FRI	夜間開館(20:00まで) 法15:00	
5 SAT	月例講演会「呉昌碩の書・画・印」13:30 平成館大講堂*1 香11:00 建11:00 樹13:30 本14:00 法15:00	
6 SUN	ま11:00 作13:30 浮14:00 考14:30	
7 MON	休館日	
8 TUE		
9 WED	樹13:30	
10 THU	本14:00 庭14:00	
11 FRI	夜間開館(20:00まで) 考14:30	
12 SAT	香11:00 陶14:30	
13 SUN	ま11:00 彫11:00 英13:00 浮14:00	
14 MON	休館日	
15 TUE	列品解説「国宝 観楓図屏風」14:00 本館20室 建13:00	
16 WED		
17 THU	彫15:00	
18 FRI	夜間開館(20:00まで) 法15:00	
19 SAT	記念講演会「特別展「法然と親鸞ゆかりの名宝」について」13:30 平成館大講堂*4 香11:00 建(手話通訳付き)11:00 本12:00, 14:00 樹13:30 法15:00	
20 SUN	ま11:00 茶12:30, 14:00	
21 MON	休館日	
22 TUE	列品解説「頭に宇賀神をあらわす弁才天像」14:00 本館20室	
23 WED	ま11:00 樹13:30	
24 THU	英13:00 本14:00	
25 FRI	夜間開館(20:00まで) 考14:30	
26 SAT	記念講演会「法然上人に近づく」13:30 平成館大講堂*4 香11:00 陶14:30	
27 SUN	ま11:00 彫11:00 英13:00 浮14:00 庭14:00	
28 MON	休館日	
29 TUE	列品解説「長船長光の太刀」14:00 本館13室 建13:00	
30 WED		

*1詳細は本誌12ページをご覧ください *2事前申込制。詳細は前号14ページをご覧ください *3詳細は本誌13ページをご覧ください *4「法然と親鸞 ゆかりの名宝」展関連事業。事前申込制。詳細は本誌2ページをご覧ください *上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください *屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

香=表慶館トラベル(アジアの香り、詳細は本誌13ページをご覧ください)会場:表慶館
ま=表慶館トラベル(まぼろしの作品調査書、詳細は本誌13ページをご覧ください)会場:表慶館
本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス(10月8日は留学生にもわかりやすい内容です)
彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します)
考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス(11月第3室開室日は全室ご案内します)

茶=ボランティアによる茶会、集合場所:本館1階エントランス(一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所:本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
英=ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ(勾玉作りコース、抽選、詳細は本誌13ページをご覧ください)
黒田記念館開館日、木曜・土曜13:00~16:00(但し6/30~10/12は夏期休館)
ミュージアムシアター「法隆寺献納宝物 国宝 聖徳太子絵伝(10/1~12/25)上映
10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所:本館1階エントランス 詳細は当館ホームページでご確認ください)